

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム第6回総会議事要旨

- 1 日 時：令和5年5月22日（月）15時00分～16時15分
- 2 場 所：オンライン（Web会議システム Zoom）
- 3 出席者：寶（会長）、甘利（副会長）、遠藤（副会長）、佐波、柳生、大野（狩矢委員代理）、秋山、林、真城、長瀬、安部、岡（福島委員代理）、玄地、岡部（山際委員代理）、Li、岡島、石濱
陪席者：松室（防災科研）、松本（〃）、倉谷（〃）、菊池（〃）、白田（〃）、小松原（セコム）、前田（DNP）、松本（東急 PM）、小山（NTT）、柴崎（東京海上日動）、市村（東急総研）、杉山（産総研）、古川（筑波大学）、齊藤（〃）、木下（〃）、大貫（〃）、増田（〃）、栗原（〃）、酒井（〃）、根本（〃）

4 議事

議事に先立ち、遠藤副会長より、新会長決定までは遠藤副会長が会長代理を務める旨の説明があった。

I. レジリエンス研究教育推進コンソーシアムに係る事案

【審議事項】

(1) 東京海上日動火災保険株式会社の参画について

遠藤会長代理から、資料1に基づき説明があり、正会員として入会が承認された。

承認後、林氏（東京海上日動・アドバイザー）及び柴崎氏（同・dx推進部）から挨拶があった。

(2) 株式会社東急総合研究所の参画について

遠藤会長代理から、資料2に基づき説明があり、正会員として入会が承認された。

承認後、真城氏（東急総合研究所・主任研究員）から挨拶があった。

(3) 令和5年度運営委員会委員について

遠藤会長代理から、資料3に基づき次の説明があり、承認された。

➤ 委員を次のとおり交代する

東急プロパティマネジメント：真城 源学 氏 → 狩矢 淳雅 氏

防災科学技術研究所：林 春男 氏 → 寶 馨 氏

労働安全衛生総合研究所：佐々木 哲也 氏 → 山際 謙太 氏

➤ 新規参画機関から次の者が委員となる

東京海上日動：林 春男 氏（以降の議事から委員として出席）

東急総合研究所：真城 源学 氏（以降の議事から委員として出席）

(4) 会長の選出について

遠藤会長代理から、資料4に基づき会長選出を行う旨の説明があり、互選により次のとおり決定した。

➤ 会長（コンソーシアム規約第7条第2項）：

寶 馨 氏（国立研究開発法人防災科学技術研究所・理事長）

※任期：令和5年5月22日～令和6年3月31日

(5) 令和5年度幹事会委員について

遠藤副会長から、資料5に基づき次の説明があり、承認された。

- オブザーバーから委員（議長）へ変更
寶 馨 氏（選出区分：コンソーシアム規約第10条第4項（1））

(6) 令和5年度年間活動計画について

遠藤副会長及び岡島委員から、資料6に基づき次の説明があり、了承された。

- 第15回運営委員会：8月頃にNTT宇宙環境エネルギー研究所で見学会を兼ねて開催予定
- シンポジウム：8～9月頃に3者共催（※）を検討中
※R2EC・共創の場・広島テレビ「いま動こう！みんなで防災PROJECT」
- R2EC就職説明会/第2回ピッチ会：3月頃に開催予定
- 博士後期課程入試：7月に受験し同年10月に入学可能となる入試を今年度から実施

(7) その他

特になし。

【報告事項】

(1) 令和4年度参画機関・筑波大学意見交換会実施報告

遠藤副会長から、資料7に基づき意見交換会の実施状況について報告があった。

(2) 第1回ピッチ会実施報告（R4.11.9）

遠藤副会長から、資料8に基づき次の報告があった。

- 6機関8ブースの出展があり各機関の研究紹介等が行われた
- 大学院生の積極的な参加があり、参画機関との交流が生まれたことから、第2回ピッチ会（就職説明会）の企画に繋がった

(3) 第24回幹事会（R5.4.26）について

遠藤副会長から、資料9に基づき第24回幹事会の議事について報告があった。

(4) JST共創の場形成支援プログラムの活動について

遠藤副会長から、R2ECが協力機関として参加している「JST共創の場形成支援プログラム」について次の報告、及び依頼があった。

- 今秋の本格型申請に向けてビジョンの作り込みを行っており、「5D-MaaSによるまちの創造」をメインテーマに、新たなまちを実際に作る方向で検討を重ねている
- 本格型申請時において参画いただける機関があれば、別途説明会を行うので参加を検討いただきたい（説明会日程等については後日事務局より照会）

(5) その他

- 遠藤副会長から次の提案があり、了承された。
 - ・参画機関同士で行っている共同研究等を調査し、コンソーシアムの研究実績としたい
 - ・後日、事務局より次の項目を照会し、Webサイトに一覧を掲載させていただく

調査対象：2017年度（コンソーシアム発足）以降に開始した共同研究等

調査項目：機関名、研究テーマ、研究期間等

- 佐波委員より、次の報告があった。
 - ・6月末で大日本印刷を離職されることに伴い、運営委員会委員も離任となる
 - ・後任に前田賀隆氏を推薦したい

II. 筑波大学リスク・レジリエンス工学学位プログラムに係る事案

【審議事項】

(1) 「レジリエンス研究教育推進コンソーシアム活動報告」の発刊について

岡島委員から、資料10に基づき次の説明があり、了承された。

- 今年度から従前の学位プログラム紀要を「コンソーシアム活動報告」として刊行（Webのみ）
- Vol.1は2017～2022年度の活動総括として7月頃発刊予定
- 「会長挨拶」及び「前会長からのメッセージ」は事務局から個別に執筆を依頼する

(2) 「R2EC 就職説明会/第2回ピッチ会（仮称）」について

岡島委員から、次の説明があり、了承された。

- 第2回ピッチ会をR2EC就職説明会として学生（大学院生・学類生）向けに開催予定
- 参画機関のリスク・レジリエンス関連部署の方による研究紹介・業務紹介を想定
- 学位プログラム就職委員会で開催時期・対象・内容等を検討中
- 本件に関し参画機関からのアイデアを募集

(3) その他

特になし。

【報告事項】

(1) 協働大学院教員の着任（R5.5.1）について

岡島委員から次の報告があった。

- 日本自動車研究所・北島創（きたじまそう）准教授（協働大学院）が5月1日着任
- 前年度末で退任された内田信行教授の後任として研究指導・授業等を担当

(2) リカレント教育推進事業（リスク x ライフ）について

岡島委員から、資料11に基づき次の報告があった。

- 筑波大学で協働大学院方式を実施する2つの学位プログラム（リスク・レジリエンス/ライフイノベーション）が共同でリカレント教育推進事業に申請した（審査結果通知：6月頃）
- 開設準備中のオムニバス講義（講演会）は参画機関の方も参加・聴講可能とする予定

(3) 令和4年度就職実績報告（R5.3.24 修了者）について

岡島委員から、資料12に基づき次の報告があった。

- 博士後期課程修了者：6名（全員標準修業年限3年で修了）
- 博士前期課程修了者：33名
- 超売り手市場で就職状況が良好なため後期課程への進学者数が少ないことが課題

(4) コンソーシアム参画機関学位取得者数一覧 (R5.3.24) について

岡島委員から、資料 13 に基づき次の報告があった。

- 参画機関から初の博士号取得者 2 名を輩出 (NEC, 防災科研)

(5) コンソーシアム参画機関在籍者数一覧 (R5.4.1) について

岡島委員から、資料 14 に基づき今年度在籍者数 (在籍 1 名, 入学 0 名) の報告があった。

(6) 令和 5 年度協働大学院教員指導体制について

岡島委員から、資料 15 に基づき次の報告があった。

- 一般社会人 2 名が協働大学院教員 (産総研・加藤教授, 防災科研・臼田教授) を主指導に指名し博士後期課程に入学 ※共同研究等による繋がり
- オープンキャンパスでも協働大学院教員の指導を希望する問合せがあり、協働大学院方式の認知度が徐々に高まっている
- 副次的な効果として、協働大学院教員に修士論文発表会の副査として入っていただくことにより、一般学生にも大いに刺激になっている

(7) 令和 5 年度参画機関担当科目について

岡島委員から、資料 16 に基づき各参画機関担当科目の報告があった。

(主な質疑応答)

- 實会長 : 留学生には英語で授業を行っているのか。また、女子学生比率はどのくらいか。
- 岡島委員 : 日本語実施の授業が多いが、必要があれば英語マテリアル配布等の言語サポートを行っている。また、女子学生比率は約 20~30% と工学系の中では比較的高い方。

(8) 令和 5 年度参画機関インターンシップについて

岡島委員から、資料 17 に基づき次の報告があった。

- 日本自動車研究所のインターンシップに 1 名申請があり、協定書締結中
- 資料記載外のインターンシップがある場合はお知らせ願いたい (事務局からも秋に追加照会)

(9) その他

甘利副会長から、「JNSA 2023 年度活動報告会 (6 月 7 日開催)」の告知があった。

- 日本の科学技術力向上と博士人材育成についての講演を予定 (講演者: 北大 吉原 拓也 教授)

以上